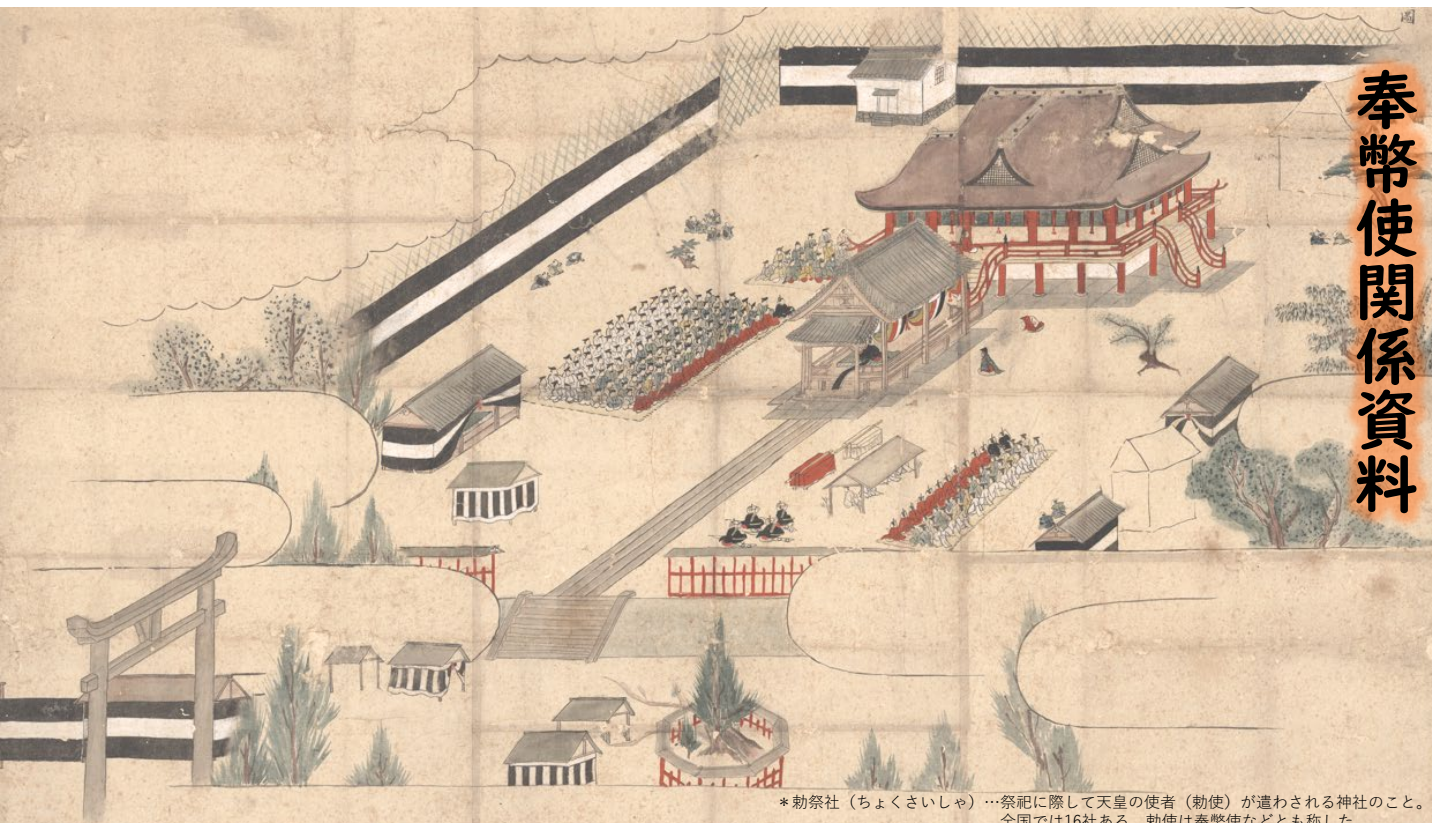


奉幣使関係資料



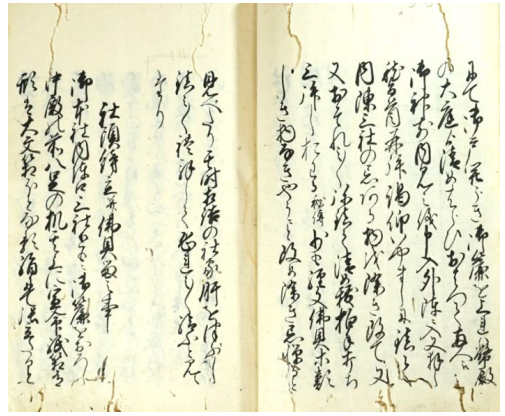
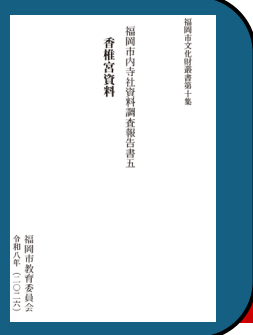
\*勅祭社（ちよくさいしゃ）…祭祀に際して天皇の使者（勅使）が遣わされる神社のこと。全国では16社ある。勅使は奉幣使なども称した。

[古文書7 奉幣使参拝之図]

文化元年（1804）奉幣使 四辻公説（よつつじ きんこと）御参向のとき、秋月藩士の吉村平蔵が藩命により当日参列し、自らその実景を書写したという。

『香椎宮資料』調査報告書  
ダイジェスト版

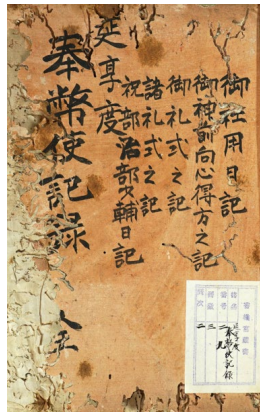
今後、報告書は都道府県立図書館等で蔵書登録されたのち、読むことができます。



[古文書53 延享度奉幣使記録 全]

中世の断絶を経て、延享元年（1744）の甲子の年に宇佐神宮・香椎宮の奉幣使参向が復活した。以後は、文化元年（1804）、元治元年（1864）の60年に一度、大正14年（1925）以後は10年に一度の参向となった。

当時の神仏習合に対し、社殿の前を飾り立てることや仏具が禁じられた。



へいはく [幣帛・玉串1 [幣帛]]

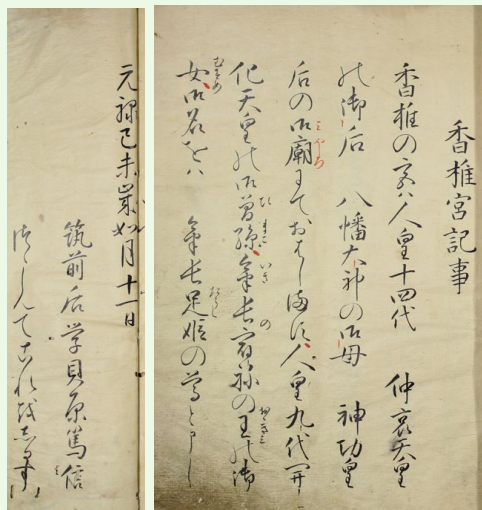
文化度と元治度の幣帛。元治元年（1864）5月11日の〔官幣送文〕には綿・木綿・麻などが記され、その一部が伝わる。

# 縁起関係資料

## [古文書7 香椎宮記事]

元禄3年(1690)2月11日、貝原篤信(益軒)撰。香椎宮所蔵縁起のうち最も古い。跋文には、香椎宮故事を一卷にまとめて藩主に献上したことを機に、藩の奉幣が実現したことへの喜びが記されている。

書写の江崎氏女は、益軒の妻で能書家の東軒である。

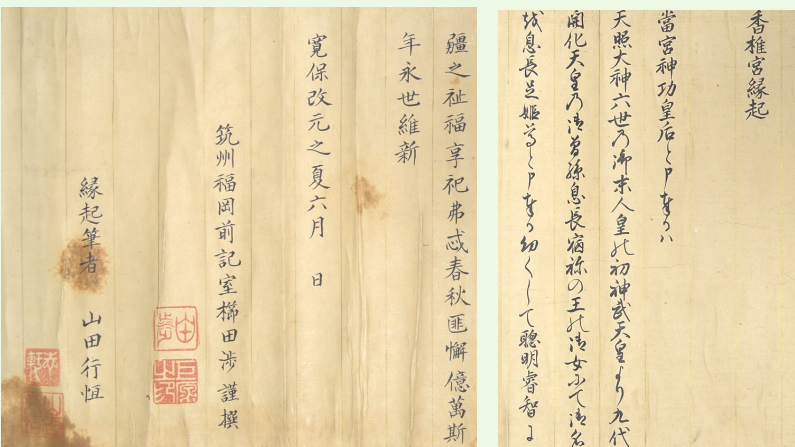


## [古文書19 香椎宮縁起]

寛保元年(1741)6月、櫛田涉(琴山)の撰、山田行恒の筆による。一卷八紙の卷子装である。

跋文によれば、貝原樂軒・好古親子と、樂軒の弟にあたる貝原益軒の3人の編選であり、作成後数十年にわたって私蔵されていたが、その稿を託された琴山が、その求めに応じて校閲・整理したものという。

文化元年(1804)4月作成の奉納目録も残っており、文化度の奉幣使参向にあわせて修復されたと推測できる。



## 禁裏御用絵師・狩野正栄筆 「神功皇后鶴亀図三幅対」

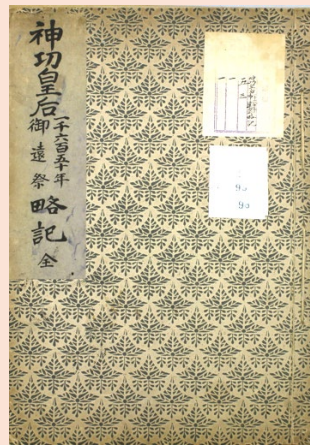
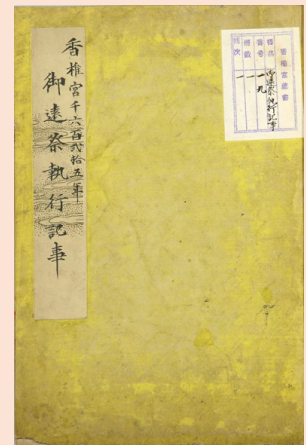
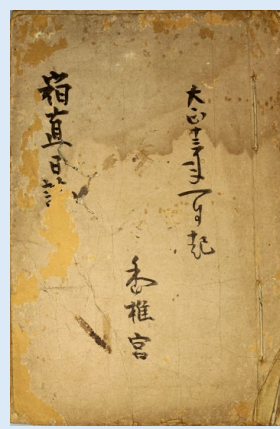
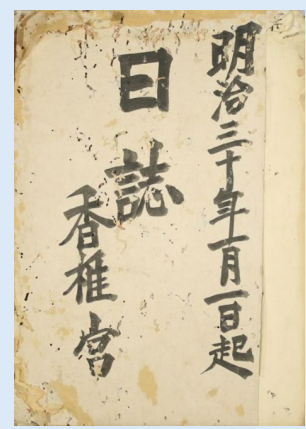


## [絵画2 神功皇后鶴亀図 三幅対]

作成年代：寛政9年～享和2年(1797～1802)  
筆者：法橋 狩野正栄至信(かのうしょうえいよしのぶ)  
狩野家は禁裏御用を務める格式高い絵師の家。  
来歴：和歌山藩国学者・服部中庸(渡辺義内)の仲介により、伊勢の豪商・長谷川次郎兵衛が制作を依頼。近年、有志者から香椎宮へ奉納された。せんげじっしょく制作時の関係書状も同封され、箱や表装は千家十職(三千家に出入りする職人集団)の作であることがわかる。  
そのほか、旧長谷川治郎兵衛家資料(NPO法人松阪歴史文化舎所蔵)にも関係資料がある。

## [絵画1 黒田綱政筆竹に鶏図]

作成年代：元禄14年(1701)11月18日  
筆者：4代藩主・黒田綱政  
※同年、綱政は荒戸東昭宮をはじめ、大宰府天満宮、住吉神社、志賀海神社など計14社に自画の絵馬を寄進した。



[古文書224 香椎宮名所旧蹟指定願控]

明治37年

明治37年7月9日に古社寺保存法により以下の八ヶ所を名所旧蹟に指定するため、香椎宮宮司の木下美重から内務大臣芳川顕正にあてた願書の控え。

- ①香椎宮旧蹟（熊襲・三韓征伐大本營地）
- ②不老水
- ③冑（かぶと）塚
- ④甲（よろい）坂
- ⑤冑（くびきり）塚
- ⑥御島（みしま）
- ⑦香椎宮頓宮地（附香椎瀉・香椎浦渡）
- ⑧檣石（ほばしらいし）（附船巖・皆打浜）

(右) [古文書114 日誌] 明治30年 (1897)  
 (左) [古文書141 宿直日誌] 大正13年 (1924)  
 香椎宮には明治30年から日誌（社務日誌）が多数残っている。  
 香椎宮の近現代史を明らかにする貴重な資料群である。

(右) [古文書354 香椎宮千六百貳十五年御遠祭執行記事]

明治26年 (1893) 4月1日から21日まで斎行された神功皇后1625年御遠祭に関する資料。

神楽、生花、和歌、音楽、柳町芸妓手踊、歌舞伎が奉納され、当時の福岡日日新聞には「参詣の人引きも切らざるに今一層の賑わいを増すだろう」、「盛況はこれを予想するに余りあるべし」とその賑わいぶりを伝える。

(左) [古文書356 神功皇后一千六百五十年御遠祭略記全]

大正7年 (1918) 4月16日～20日まで斎行された神功皇后1650年御遠祭に関する資料。

神楽、生花、獅子楽、筑前琵琶が奉納され、香椎小学校・多々良小学校の児童成績品の展示、二代目小雀春光齋の浪花節、記念福くじなどが実施された。

当時の福岡日日新聞には、「福博よりの人で多く近来稀なる賑わい」と、その盛況ぶりがうかがえる。

[古文書761 官幣大社香椎宮境内全図乙ノ図]

明治26年 (1893) 2月に福岡県庁へ進達した境内全図の控え。

このころはまだ楼門や中門（南大門）は再建されていない。



# 香椎宮建築関係資料

— 追遠会により再建された中門（南大門） —



[古文書816〔香椎宮中門ノ図〕] 明治35年頃か



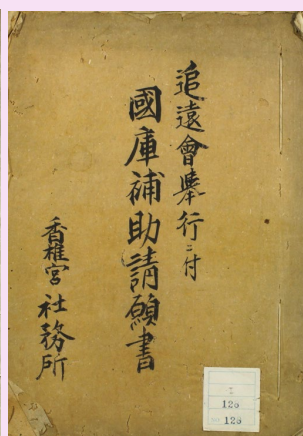
[写真資料1〔建設中の中門〕] 明治35年(1902)頃



[棟札18〔棟札〕香椎宮南大門（中門）] 明治35年(1902)

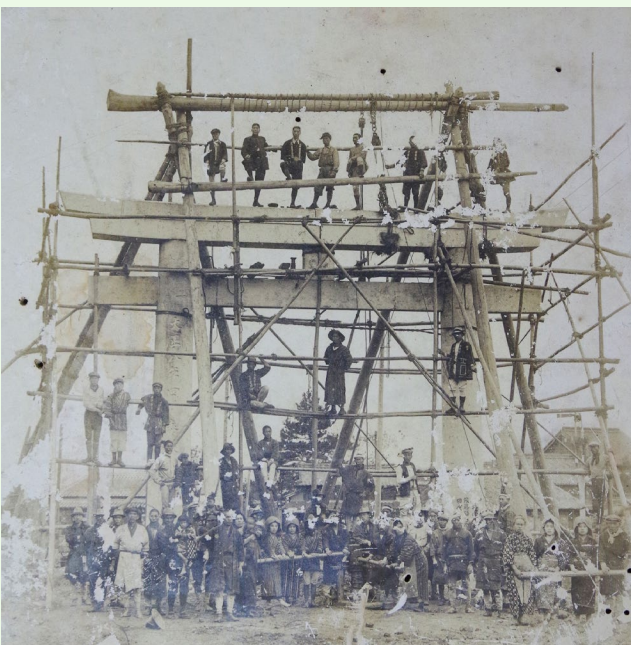


[古文書804 官幣大社香椎宮境内及附近之図] 大正2年(1913)

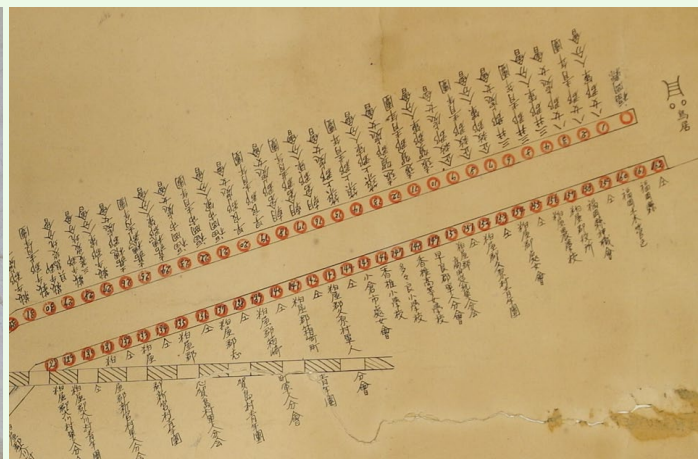


[古文書537 追遠会舉行二付國庫補助請願書] 明治32年(1899)頃

# 勅使道関係資料



[写真資料5〔建設途中の一ノ鳥居〕] 大正8年(1919)頃



[古文書466 勅使道 楠並木植栽図] 大正15年(1926)  
大正15年2月11日、福岡県知事をはじめ各部課長、技師、県下各郡市町村長、在郷人会、青年団、処女会員等が参列し、献木祭を行い太鼓を合図に作業を行った。勅使、知事、各団体献木総数165本。

予 告

令和9年度は志賀海神社の資料調査報告書を刊行予定

発行日 令和8年(2026)3月  
発行元 福岡市経済観光文化局文化財活用部文化財活用課  
お問い合わせ 〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8-1(福岡市役所14階)  
TEL: 092-711-4862、FAX: 092-733-5537  
E-mail: bunkazai.EPB@city.fukuoka.lg.jp



福岡市の文化財 検索

上記の二次元バーコードを読み取ってアクセスください

※香椎宮が所有する資料は、通常、非公開となっています。  
ご理解のほど、どうぞよろしくお願いいたします。